平成25年木材需給表 正誤表

	平成25年木材需給表 正誤表
正	誤
平 成 25 年	平 成 25 年
木 材 需 給	表木材需給表
平成 2 <mark>8</mark> 年 <u>4</u> 月 林 野 庁 企 画 課	平成 2 <mark>.7</mark> 年 <u>1</u> 月 林 野 庁 企 画 課

2 木材需給の概要

(1) 木材需要

(ア) 用材

平成 25 年における用材の総需要量は 7,386 万 7 千㎡で、前年に比べて 323 万 4 千㎡ (対前年増減率 (以下同じ。) 4.6%) 増加した。この内訳をみると、製材用材が 253 万 9 千㎡ (9.7%)、合板用材が 93 万 8 千㎡ (9.1%) の増加となり、パルプ・チップ用材が 65 万 7 千㎡ (\triangle 2.1%) の減少となった。また、輸出量は 190 万 1 千㎡で、前年に比べて 49 万 5 千㎡ (35.2%) 増加した。

īF

(イ) しいたけ原木及び薪炭材

平成 25 年におけるしいたけ原木の総需要量は 38 万 8 千㎡で、前年に比べて 4 万 9 千㎡ (\triangle 11. 2%)減少した。一方、薪炭材の総需要量は 120万 4 千㎡で、前年に比べて 8 万 5 千㎡ ($\overline{7..6}$ %)増加した。

(ウ)総数

平成25年における総需要量は7,545万9千㎡で、前年に比べて327万㎡(4.5%)増加した。

木材需要の動向

			/N 1/3	而女	Vノ 野J	lH1		
		区 分	平成 2 数量 (千m³)	5年 構成比 (%)	平成 2 数量 (千m³)	2 4 年 構成比 (%)	対前年 増減量 (千m³)	対前年 増減率 (%)
		製材用材	28, 592	37.9	26, 053	36.1	2, 539	9.7
	用	パルプ・チップ用材	30, 353	40.2	31,010	43.0	△ 657	△ 2.1
総		合 板 用 材	11, 232	14. 9	10, 294	14.3	938	9.1
需	材	その他用材	3,690	4.9	3, 275	4.5	415	12.7
要		小 計	73,867	97.9	70,633	97.8	3, 234	4.6
量	Ì	しいたけ原木	388	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
	Ä	薪 炭 材	1,204	1.6	1, 119	1.6	<u>85</u>	<u>7.6</u>
		計	75, 459	100.0	72, 189	100.0	3, 270	4.5
	用	製材用材	28, 497	38.7	25, 960	36.7	2, 537	9.8
		パルプ・チップ用材	28,860	39.2	29, 851	42.2	△ 991	△ 3.3
玉	4-4-	合板用材	11, 191	15.2	10, 262	14.5	929	9.1
内	材	その他用材	3, 418	4.6	3, 153	4.5	265	8.4
消費		小 計	71,966	97.9	69, 226	97.8	2, 740	4.0
實	Ì	しいたけ原木	388	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
	Ä	薪 炭 材	1, 191	1.6	1, 106	1.6	85	7.7
		計	73,544	100.0	70, 769	100.0	<u>2, 775</u>	<u>3. 9</u>
	,	用 材	1,901	99.3	1, 406	99.0	495	35. 2
輸		うち丸太	273	14.3	122	8.6	151	123.8
出	Ä	薪 炭 材	13	0.7	13	0.9	0	0.0
		計	1,914	100.0	1,420	100.0	494	34.8

- 注:1) 合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 輸出の丸太には、加工材、再生木材等を含む。
 - 4) 薪炭材には、木炭、薪、のこくず、木くず及びペレットを含む。
 - 5) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

2 木材需給の概要

(1) 木材需要

(ア) 用材

平成 25 年における用材の総需要量は 7,386 万 7 千㎡で、前年に比べて 323 万 4 千㎡ (対前年増減率 (以下同じ。) 4.6%) 増加した。この内訳をみると、製材用材が 253 万 9 千㎡ (9.7%)、合板用材が 93 万 8 千㎡ (9.1%) の増加となり、パルプ・チップ用材が 65 万 7 千㎡ (\triangle 2.1%) の減少となった。また、輸出量は 190 万 1 千㎡で、前年に比べて 49 万 5 千㎡ (35.2%) 増加した。

誤

(イ) しいたけ原木及び薪炭材

平成 25 年におけるしいたけ原木の総需要量は 38 万 8 千㎡で、前年に比べて 4 万 9 千㎡ (\triangle 11. 2%)減少した。一方、薪炭材の総需要量は 12<u>1</u>万 <u>1</u> 千㎡で、前年に比べて <u>9</u>万 <u>2</u> 千㎡ (<u>8. 2</u>%)増加した。

(ウ)総数

平成25年における総需要量は7,546万5千㎡で、前年に比べて327万6千㎡(4.5%)増加した。

木材需要の動向

			. 14	III >		13		
		平成25年		平成 2 4 年		対前年	対前年	
	区 分		数量	構成比	数量	構成比	増減量	増減率 (%)
L			(千m³)	(%)	(千m³)	(%)	(千m³)	(%)
		製材用材	28, 592	37.9	26, 053	36. 1	2, 539	9. 7
	用	パルプ・チップ用材	30, 353	40.2	31,010	43.0	△ 657	△ 2.1
総	l	合板用材	11, 232	14.9	10, 294	14.3	938	9.1
需	材	その他用材	3,690	4.9	3, 275	4.5	415	12.7
要		小 計	73,867	97.9	70,633	97.8	3, 234	4.6
量	しいたけ原木		388	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
	薪 炭 材		1,211	1.6	1, 119	1.6	92	8. 2
		計	75, 465	100.0	72, 189	100.0	3, 276	4.5
		製材用材	28, 497	38.7	25, 960	36. 7	2,537	9.8
	用	パルプ・チップ用材	28,860	39. 2	29, 851	42.2	△ 991	△ 3.3
玉		合 板 用 材	11, 191	15. 2	10, 262	14. 5	929	9. 1
国内	材	その他用材	3,418	4.6	3, 153	4.5	265	8.4
消		小 計	71,966	97.8	69, 226	97.8	2,740	4.0
費	しいたけ原木		388	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
	THE	蕨 炭 材	1, 197	1.6	1, 106	1.6	91	8.2
	計		73,551	100.0	70, 769	100.0	<u>2, 782</u>	<u>3.9</u>
	ļ	用 材	1,901	99.3	1,406	99.0	495	35. 2
輸		うち丸太	273	14. 3	122	8. 6	151	123.8
出	ž	蕨 炭 材	13	0.7	13	0.9	0	0.0
		計	1,914	100.0	1,420	100.0	494	34. 8

- 注:1)合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 輸出の丸太には、加工材、再生木材等を含む。
 - 4) 薪炭材には、木炭、薪、のこくず、木くず及びペレットを含む。
 - 5)数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

(2) 木材供給

(ア) 用材

平成 25 年における用材の国内生産量は 2,111 万 7 千㎡で、前年に比べて 143 万 1 千㎡ (7.3%) 増 加した。この内訳をみると、丸太は 2,081 万8 千㎡で 153 万4 千㎡(8.0%)の増加、林地残 材は29万9千㎡で10万3千㎡(人25.6%)の減少となった。

正

用材の輸入量は 5,275 万㎡で、前年に比べて 180 万 3 千㎡ (3.5%) 増加した。この内訳を みると、丸太の輸入量が33万6千m²(6.0%)、木材製品の輸入量が146万8千m²(3.2%)増加した。

(イ) しいたけ原木及び薪炭材

平成 25 年におけるしいたけ原木の国内生産量は 38 万 8 千 $\mathring{\mathbf{m}}$ で、前年に比べて 4 万 9 千 $\mathring{\mathbf{m}}$ (\triangle 1 1.2%)減少した。一方、薪炭材の国内生産量は23万㎡で、前年に比べて3万4千㎡(17.3%)増 加し、輸入量は97万4千㎡で、前年に比べて5万㎡(5.4%)増加した。

(ウ) 総数

平成25年における国内生産量は2,173万5千㎡で、前年に比べて141万7千㎡(7.0%)増加し、 輸入量は5,372万4千㎡で、前年に比べて185万4千㎡(3.6%)増加した。

				木 材	伊	共 給	の動	向		
				平成	2	5年	平成2	4年	対前年	対前年
		区	分	数量		構成比	数量	構成比	増減量	増減率
_		1		(千m³)	_	(%)	(千m³)	(%)	(手m³)	(%)
	用	丸	太	26, 7	88	35.5	24, 918	34.5	1,870	7.5
	Ж	林	地残材	2	99	0.4	402	0.6	△ 103	△ 25.6
総供	材	輸	入木材製品	46, 7	80	62.0	45, 312	62.8	1,468	3. 2
供給		小	計	73, 8	67	97.9	70,633	97.8	3, 234	4.6
量		しい	たけ原木	3	88	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
		薪	炭材	1, 2	04	1.6	1, 119	1.6	<u>85</u>	7.6
			計	<u>75, 4</u>	<u>59</u>	100.0	72, 189	100.0	3, 270	4.5
	В	丸	太	20, 8	18	95.8	19, 284	94. 9	1, 534	8.0
国	用材	林	地残材	2	99	1.4	402	2. 0	△ 103	△ 25.6
内	123	小	計	21, 11	7	97. 2	19,686	96. 9	1, 431	7.3
生		しい	たけ原木	3	88	1.8	437	2. 2	△ 49	△ 11.2
産		薪	炭 材	2	30	1. 1	196	1.0	34	17.3
			計	21,73	35	100.0	20, 318	100.0	1,417	7. 0
		す	1 太	5, 9	70	11. 1	5,634	10.9	336	6.0
	用		製材品	11, 8	35	22.0	10, 371	20.0	1, 464	14. 1
	ж		木材パルプ	5, 7	71	10.7	6,033	11.6	△ 262	△ 4.3
輸		材一	木材チップ	19, 4	00	36.1	19,652	37. 9	△ 252	△ 1.3
1,000		製 —	合 板 等	6, 7	34	12.5	6, 457	12.4	277	4.3
		品。	その他	3, 0	40	5. 7	2, 798	5. 4	242	8.6
١,	材		うち構造用集成	材 1, 2	68	2.4	1, 123	2. 2	145	12. 9
^	723		細 計	46, 7	80	87. 1	45, 312	87.4	1, 468	3. 2
		小	計	52, 78	50	98. 2	50, 947	98. 2	1,803	3. 5
		薪	炭材	9	74	1.8	924	1.8	50	5. 4
	計			53, 72	24	100.0	51,870	100.0	1,854	3.6

- 注:1) 林地残材は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に
 - 搬入されたものである。 2) 薪炭材には、木炭、薪、のこくず、木くず及びペレットを含む。 3) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

(2) 木材供給

(ア) 用材

平成25年における用材の国内生産量は2,111万7千㎡で、前年に比べて143万1千㎡(7,3%)増 加した。この内訳をみると、丸太は 2,081 万 8 千㎡で 153 万 4 千㎡ (8.0%) の増加、林地残 材は29万9千㎡で10万3千㎡(人25.6%)の減少となった。

誤

用材の輸入量は 5,275 万㎡で、前年に比べて 180 万 3 千㎡ (3,5%) 増加した。この内訳を みると、丸太の輸入量が33万6千m³(6,0%)、木材製品の輸入量が146万8千m³(3,2%)増加した。

(イ) しいたけ原木及び薪炭材

平成25年におけるしいたけ原木の国内生産量は38万8千㎡で、前年に比べて4万9千㎡(△1 1.2%)減少した。一方、薪炭材の国内生産量は23万7千㎡で、前年に比べて4万1千㎡(20.9%) 増加し、輸入量は97万4千㎡で、前年に比べて5万㎡(5.4%)増加した。

(ウ) 総数

平成25年における国内生産量は2,174万1千㎡で、前年に比べて142万3千㎡(7.0%)増加し、 輸入量は5.372万4千㎡で、前年に比べて185万4千㎡(3.6%)増加した。

				7	ド 材 	共 給	の動	向		
					平成 2	5年	平成 2	4年	対前年	対前年
		⊵	区 分	`	数量	構成比	数量	構成比	増減量	増減率
		_	L.	1.	(∓m³)	(%)	(千m³)	(%)	(∓m³)	(%)
	用	_	丸	太	26, 788	35. 5	24, 918	34.5	1,870	7. 5
総	/ 13	_		残材	299	0.4	402	0.6	△ 103	△ 25.6
供	材	-	輸入木材		46, 780	62.0	45, 312	62.8	1, 468	3. 2
給			<u>小</u>	計	73, 867	97. 9	70,633	97.8	3, 234	4.6
量		_	ハたけ	241.1	388	0.5	437	0.6	△ 49	△ 11.2
		薪	炭	材	<u>1, 211</u>	1.6	1, 119	1.6	<u>92</u>	8.2
			計		75, 465	100.0	72, 189	100.0	3, 276	4.5
	用	丸太			20, 818	95.8	19, 284	94. 9	1,534	8. 0
国	材		林 地		299	1.4	402	2.0	△ 103	△ 25.6
内			小	計	21, 117	97. 1	19, 686	96.9	1, 431	7.3
生産		_	ハたけ		388	1.8	437	2.2	△ 49	△ 11.2
座		薪	炭	材	237	1. 1	196	1.0	41	20.9
			計		21,741	100.0	20, 318	100.0	1,423	7.0
		丸 太			5, 970	11.1	5,634	10.9	336	6.0
	用			材 品	11, 835	22.0	10, 371	20.0	1, 464	14. 1
	л	١, ا	木材	パルプ	5, 771	10.7	6,033	11.6	△ 262	△ 4.3
輸		木材	木材	チップ	19, 400	36. 1	19,652	37.9	△ 252	△ 1.3
		製	合力	板等	6, 734	12. 5	6, 457	12.4	277	4. 3
		品	そ(の他	3, 040	5.7	2, 798	5.4	242	8.6
ኢ	材		うち構	造用集成材	1, 268	2. 4	1, 123	2.2	145	12.9
^	J		細	計	46, 780	87. 1	45, 312	87.4	1, 468	3. 2
			小	計	52,750	98. 2	50, 947	98. 2	1,803	3. 5
		薪	炭	材	974	1.8	924	1.8	50	5. 4
			計		53,724	100.0	51,870	100.0	1,854	3.6

- 注:1) 林地残材は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に
 - 搬入されたものである。 2) 薪炭材には、木炭、薪、のこくず、木くず及びペレットを含む。 3) 数値の合計値は、四捨五人のため計に一致しない場合がある。

平成25年木材需給表 正誤表

(3) 木材自給率

平成 25 年における用材の国内生産量と輸入量はともに前年に比べ増加したが、国内生産量の増加率(対前年で 143 万 1 千㎡、7.3%の増加)が輸入量の増加率(同 180 万 3 千㎡、3.5%の増加)よりも高く、この結果、平成 25 年の木材 (用材) 自給率は 28.6%と前年に比べて 0.7 ポイント上昇した。

īF

しいたけ原木や薪炭材を含めた総数の自給率は 28.8% となり、前年に比べて 0.7 ポイント上昇した。

木材自給率の動向

		/\ /\		V) 90	lh1	
			平成25年	平成24年	対前年	対前年
	区	分	数 量	数 量	増減量	増減率
			(fm³)	(千m³)	(千m³)	(%)
		国内生産	12,058	11, 321	737	6. 5
	製材	輸入	16,534	14, 732	1,802	12. 2
	用材	総需要量	28, 592	26, 053	2, 539	9. 7
		自 給 率	42.2%	43.5%	△ 1. 3ポイント	
	ハ°ルフ°	国内生産	5, 177	5, 309	△ 132	△ 2.5
	ハ ルノ • チップ゜	輸入	25, 176	25, 702	△ 526	△ 2.0
	用材	総需要量	30, 353	31,010	△ 657	△ 2.1
		自 給 率	17.1%	17.1%	0. 0ポイント	
		国内生産	3, 255	2,602	653	25. 1
用材	合 板	輸入	7, 977	7,692	285	3. 7
/T3 1/23	用材	総需要量	11,232	10, 294	938	9. 1
		自 給 率	29.0%	25. 3%	3. 7ポイント	
		国内生産	627	454	173	38. 1
	その他	輸入	3,063	2,821	242	8.6
	用材	総需要量	3,690	3, 275	415	12. 7
		自 給 率	17.0%	13.9%	3. 1ポイント	
	計	国内生産	21, 117	19,686	1, 431	7. 3
		輸入	52, 750	50, 947	1,803	3.5
		総需要量	73, 867	70, 633	3, 234	4.6
		自給率	28.6%	27.9%	0. 7ポイント	
	玉		388	437	△ 49	△ 11.2
しいたけ	輔		_	_	_	_
原木	総		388	437	△ 49	△ 11.2
	自		100.0%	100.0%	0. 0ポイント	
	玉		230	196	34	17. 3
薪炭材	輔		974	924	50	5. 4
W1 000 P1	総		1, 204	1, 119	85	7. 6
	自		<u>19. 1%</u>	17.5%	<u>1.6ポイント</u>	
	玉		21, 735	20, 318	1, 417	7.0
総数	輎		53, 724	51,870	1,854	3. 6
1,00	総		75, 459	72, 189	3, 270	4. 5
	自	給 率	28.8%	28.1%	0. 7ポイント	

- 注:1)合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
- 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
- 3) 木材自給率の算出は次式による。

自給率=国内生産量÷総需要量×100

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

(3) 木材自給率

平成 25 年における用材の国内生産量と輸入量はともに前年に比べ増加したが、国内生産量の増加率(対前年で 143 万 1 千㎡、7.3%の増加)が輸入量の増加率(同 180 万 3 千㎡、3.5%の増加)よりも高く、この結果、平成 25 年の木材 (用材) 自給率は 28.6%と前年に比べて 0.7 ポイント上昇した。

誤

しいたけ原木や薪炭材を含めた総数の自給率は28.8%となり、前年に比べて0.7ポイント上昇した。

木材自給率の動向

区分 数量 (千m³) 数量 (千m³) 増減量 (千m³) 国内生産 12,058 11,321 737 製材輸入 16,534 14,732 1,802	前年
(千m³) (千m³) (千m³) 国内生産 12,058 11,321 737 製材輸入 16,534 14,732 1,802	the 4-4
国内生産 12,058 11,321 737 製材輸入 16,534 14,732 1,802	減率
製材輸入 16,534 14,732 1,802	%)
	6.5
H tt w = H	12.2
用 材 総 需 要 量 28,592 26,053 2,539	9.7
自 給 率 42.2% 43.5% △ 1.3ポイント	
国内生産 5,177 5,309 △ 132	△ 2.5
^ NJ	△ 2.0
用 材 総 需 要 量 30,353 31,010 △ 657	△ 2.1
17.1% 17.1% 0.0ポイント	
国内生産 3,255 2,602 653	25.1
用 材 合 板 輸 入 7,977 7,692 285	3.7
用材 総需要量 11,232 10,294 938	9.1
自 給 率 29.0% 25.3% 3.7ポイント	
国内生産 627 454 173	38. 1
その他 輸 入 3,063 2,821 242	8.6
用 材 総 需 要 量 3,690 3,275 415	12.7
自 給 率 17.0% 13.9% 3.1ポイント	
国内生産 21,117 19,686 1,431	7.3
輸 入 52,750 50,947 1,803	3.5
総需要量 73,867 70,633 3,234	4.6
自給率 28.6% 27.9% 0.7ポイント	
国内生産 388 437 △49	△ 11.2
しいたけ 輸 入	_
原 木 総 需 要 量 388 437 △ 49	△ 11.2
自 給 率 100.0% 100.0% 0.0ポイント	
国内生産 <u>237</u> 196 <u>41</u>	20.9
薪炭材 輸 入 974 924 50	5.4
総需要量 <u>1,211</u> 1,119 <u>92</u>	<u>8.2</u>
自 給 率 <u>19.6%</u> 17.5% <u>2.1ポイント</u>	
国内生産 21,741 20,318 1,423	7.0
総 数 輸 入 53,724 51,870 1,854	3.6
総需要量 75,465 72,189 3,276	4.5
自給率 28.8% 28.1% 0.7ポイント	

- 注:1) 合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材) を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 木材自給率の算出は次式による。
 - 自給率=国内生産量÷総需要量×100
 - 4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

平成25年 木材需給表 正誤表

単位:千m³

+	+ ==	+		<u> 位∶于m°</u>	
表番号	表題	表頭	表側	正	誤
П	平成25年 木材需給表	総需要量 計	総供給量 計	75,459	75,465
		総需要量 薪炭材	総供給量 計	1,204	1,211
		国内消費 計	総供給量 計	73,544	73,551
		国内消費 薪炭材 小計	総供給量 計	1,191	1,197
		国内消費 薪炭材 薪等用材	総供給量 計	254	261
		総需要量 計	総供給量 薪炭材	1,204	1,211
		総需要量 薪炭材	総供給量 薪炭材	1,204	1,211
		国内消費 計	総供給量 薪炭材	1,191	1,197
		国内消費 薪炭材 小計	総供給量 薪炭材	1,191	1,197
		国内消費 薪炭材 薪等用材	総供給量 薪炭材	254	261
		総需要量 計	国内生産 計	21,735	21,741
		総需要量 薪炭材	国内生産 計	230	237
		国内消費 計	国内生産 計	19,824	19,831
		国内消費 薪炭材 小計	国内生産 計	217	224
		国内消費 薪炭材 薪等用材	国内生産 計	138	144
		総需要量 計	国内生産 薪炭材	230	237
		総需要量 薪炭材	国内生産 薪炭材	230	237
		国内消費 計	国内生産 薪炭材	217	224
		国内消費 薪炭材 小計	国内生産 薪炭材	217	224
		国内消費 薪炭材 薪等用材	国内生産 薪炭材	138	144
参考1	木材需給の推移	需要 計	25	75,459	75,465
		需要 国内消費 小計	25	73,544	73,551
		需要 国内消費 薪炭材	25	1,191	1,197
		供給 計	25	75,459	75,465
		供給 国内生産 小計	25	21,735	21,741
		供給 国内生産 薪炭材	25	230	237
参考2	木材の需要量(用途	総需要量 計	25	75,459	75,465
	別)の推移	総需要量 薪炭材	25	1,204	1,211
		国内消費 計	25	73,544	73,551
		国内消費 薪炭材 小計	25	1,191	1,197
		国内消費 薪炭材 薪等用材	25	254	261
参考3	木材の供給量(形態	総供給量 計	25	75,459	75,465
	別)の推移	総供給量 薪炭材	25	1,204	1,211
		国内生産 計	25	21,735	21,741
		国内生産 薪炭材	25	230	237